



# 梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

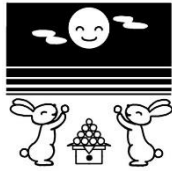
めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和6年9月2日

## 9月号

NO. 616

校長 大久保仁晶



## 夏休み明けも笑顔いっぱい梅田小

44日間といつもより少し長い夏休みが終わりました。楽しい思い出はたくさん作れましたか？宿題は無事に終わりましたか？暑さに負けず、元気に過ごせましたか？この夏休み、暑さだけでなく、台風や地震もありました。びっくりしましたね。学校には大きなけがや病気の連絡がなく、何よりだったと思っています。

さて、夏休み中にもいくつか行事がありました。「茅ヶ崎いじめ防止サミット」は、8月27日（火）に行われ、梅田向上委員会の代表が参加しました。今年は梅田中の生徒も2名梅田小に来校し、さらに市内小中学校全校がオンラインでつながって、いじめ問題について考えました。小中学校で協力してできるいじめの防止アイデアでは、「梅田小中学校で合同のレクを行ったり、いじめについての相談を行ったりしたら」とか「道徳の授業について、同じテーマで話してみてもは」などの意見交換が行われました。オンラインでは他校のいじめ防止の取組も知ることができ、学びの多い時間でした。

また、28日（水）には梅田地区推進協で「交通安全教室」が開かれました。見守りの方の旗振り指導など、実際に実演しながら学びました。警察の方にも「こういうときには、…」などいろいろ質問をされていました。今週は夏休み明けの見守り週間にもなっています。地域の方々も、夏休み明けの皆さんの安心・安全な学校生活を願っています。道で見かけたときには、ぜひ、しっかりと挨拶をしてください。

そして、今年はパリ五輪がありました。日本の選手も大活躍でしたね。校長先生もテレビの前で日本選手を応援するとともに、興奮と感動をしていました。その中でも女子やり投げで、金メダルを獲得した北口榛花（はるか）選手の笑顔がとても印象に残りました。その笑顔について聞かれたとき、「母がいつも笑顔でいれば幸せも一緒にやってくると思うから、つらくても笑顔で心掛けるようになってくれたので」と北口選手は言っていました。そのおかげで、オリンピックの陸上のフィールド種目で日本の女子選手として初めてメダルを獲得できたのかもしれない。

梅田小学校にも目指す学校像として「笑顔いっぱい梅田小」という言葉があります。今日から学校が再開されます。夏休み、なかなか会えなかった友達に再会して、また笑顔が増えたのではないのでしょうか。「笑顔いっぱい梅田小」となるためには、自分のことばかりではなく、相手の気持ちを考えたり、みんなが笑顔になれるために自分の力を使ったりと、皆さん一人ひとりの力が必要です。そうすれば、ますます学校生活が楽しいものになります。新たな気持ちを持っている今がまさにチャンスです。皆さんの活躍に期待しています。

現在はパリパラ五輪も始まっています。また、その雄姿に笑顔と感動をもらいたいですね。



自分の考えを大切に、そして他の人の話をきちんと聞いて受け止める